

2022年6月30日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
株式会社三菱 UFJ 銀行

アユタヤ銀行による Capital Nomura Securities Public Company Limited の買収について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）および株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一）の連結子会社であるタイ王国の大手商業銀行 Bank of Ayudhya Public Company Limited（以下 アユタヤ銀行）は、今般、野村ホールディングス株式会社の在タイ連結子会社である Capital Nomura Securities Public Company Limited（以下 CNS）の株式 99.1%を取得することで野村ホールディングスの在シンガポール連結子会社である Nomura Asia Investment (Singapore) Pte. Ltd. と合意し、本日、売買契約を締結いたしました。アユタヤ銀行は、株主総会および関係当局の承認を前提として、2022 年中を目途に他の株主が保有する残り 0.9%を含む最大 100.0%の株式を取得（以下 本取得）する予定であり、本取得にかかる金額は最大で総額 5,501 百万タイバーツ（1 タイバーツあたり 3.85 円で換算した場合、約 212 億円）を見込んでおります。

CNSは、個人・法人向けに有価証券のブローカー業務や資産運用アドバイザーサービス等の金融サービスを提供する、タイにおける証券会社です。アユタヤ銀行は、在タイの連結子会社である Krungsri Securities Public Company Limited を通じて個人・法人向けに証券事業を展開しており、近年、銀証連携等による同業務強化の他、グループ一体でのリテール事業強化を主要戦略として掲げています。CNSはオンラインプラットフォームを通じた個人向け投資信託販売や幅広いセクターをカバーするリサーチ力に強みがあり、本取得を通じた証券業務強化によりアユタヤ銀行グループのリテール事業全体のさらなる強化・拡大を図ってまいります。

MUFG および三菱 UFJ 銀行は、東南アジアにおいて出資している各パートナーバンクと共に、同地域のビジネスプラットフォームを構築し、事業を強化しております。今後も、東南アジアの成長により一層貢献してまいります。

《アユタヤ銀行の概要》

アユタヤ銀行は、タイにおいて 77 年の歴史を有し、同国第 5 位の資産規模を誇る大手商業銀行です。タイにおいて 634 拠点を有し、個人のお客さまから中小・大企業のお客さまに対して法人業務、消費者金融を含むリテール業務、投資、資産運用等の包括的な総合金融サービスを展開しています。また、アユタヤ銀行およびその子会社は、タイ国内最大のクレジットカード発行体でもあります。MUFG および三菱 UFJ 銀行は、アユタヤ銀行を 2013 年 12 月に連結子会社化いたしました。

《CNS の概要》

CNS は、タイにおいて有価証券のブローカー業務や資産運用アドバイザーサービス等の金融サービスを提供する証券会社です。2021 年末時点で、総収入は 1,906 百万タイバーツ（約 73 億円）であり、8 拠点を有し、個人・法人のお客さまに対して金融サービスを提供しています。

以 上